

东京外国语大学附属日本語学校

日本語

2

习题・试题集

吉林教育出版社

东京外国语大学附属日本語学校

日 本 语

Ⅱ

习题·试题集

李若柏 庄 旭

日本語②习题・试题集

李若柏 庄旭

责任编辑: 张岩峰

封面设计: 王劲涛

出版: 吉林教育出版社	850×1168毫米32开本	13印张 3插页 309,000字
发行: 吉林省新华书店	1987年12月第1版	1987年12月第1次印刷
印刷: 延边新华印刷厂	印数: 1—3,605册	
	统一书号: 7375·633	定价: 3.15元

编写说明

本书为《日本语》Ⅰ习题·试题集。根据教材的有机联系，我们将全书分为两个阶段(1~11课为第一阶段，12~22课为第二阶段)六个单元。

每个单元既有相当数量的、与课文内容相应的习题，也有突出课文要点的试题。习题部分讲究全面性、系统性，以利日语实力的提高。试题部分讲究概括性、典型性，以利日语实力的检验。

在出题形式上，追求当代日本最流行、最新式的趋势，有利于学习者，特别是计划去日本留学的同志了解和熟悉日本国内的考试原则、标准、要求和类型。

阶段复习概述了规定范围内的主要内容，并对某些语言知识做了简明扼要的归纳，使读者一目了然，便于掌握和记忆。

本书增加了检测日语综合能力的读解文章，目的在于提高学习者的日语分析和理解能力。文章选题精练、科学，有利于培养和形成日语的应用技能。

为方便学习者自检自测，书后附有参考答案及参考译文。

本书囊括了《日本语》Ⅰ的内容，并充实了必要的材料，可以随时检验对原课文的理解和掌握程度，也可以有效地扩大知识面。

本书可作为鉴定日语实力的尺度，也可作为日语教师命题解题的参考书。特别对于将要接受赴日考试的同志，尤有价值。

本书在编写过程中曾得到东北师大外语系谷学谦教授的热情

支持和指导，吉林市科技进修学院函授教师庄金铨同志给予大力协助，在此一并致谢。

限于我们的水平，难免存在不足或欠妥之处，欢迎指正。

编 者

1987年2月

目 录

第一单元(1~4课)

习题 (1)

试题 (14)

第二单元(5~8课)

习题 (20)

试题 (38)

第三单元(9~11课)

习题 (45)

试题 (62)

阶段复习(1~11课) (70)

阶段练习(1~11课) (123)

阶段考试(1~11课) (138)

语法 (138)

读解 (143)

第四单元(12~14课)

习题 (149)

试题 (164)

第五单元(15~18课)

习题 (176)

试题 (198)

第六单元(19~22课)

习题 (209)

试题 (230)

总复习(1~22课)	(238)
总练习(1~22课)	(255)
总考试(1~22课)	(272)
语法	(272)
文字	(279)
读解	(282)

附：参考答案	(287)
--------	-------

第一单元(1~4課)

習 題

(一) ()の中にふりがなを書き入れなさい。

- (1) 向こうに見える森も林も家も朝日を受けてかがやいて
いる。
- (2) 金魚も気持ちよさそうに泳いでいる。
- (3) 朝ご飯まで新聞を読んだ。
- (4) 都会の家の庭はせまい。
- (5) 雲一つない青空だ。
- (6) 魚つりに行ったが、つれないので、魚やで魚を買って
帰った。
- (7) 東北地方には、青森県、秋田県、岩手県、山形県など
六つの県がある。
- (8) この果物はこの地方の特産物だ。
- (9) 特急に乗って、新宿へ行き、デパートの特売場で登山
用品を買った。
- (10) 春の終わりごろ、黄緑の花が咲き、その花が散ったあ
と、緑色の実になる。
- (11) 本屋の店先で本を立ち読む。
- (12) 私の兄は国費留学生として、明治時代の政治の研究を
している。

(13) 休みの日が続くことを「連休」という。

(14) 夏の日光が大変強い。

(15) 勉強の進んだクラスに追いつくために、土曜日の午後も授業をする。

(二) □の中に漢字を書きいれなさい。

(1) □を□□する。

(2) □の□□をすって、□□を□□げると、□□が一羽□

きながら□□この□□へ□□んで行った。

(3) □□な□□を□□るために、□□をする。

(4) この□□は、□□や□□を□□てるのにいい。

(5) □□の□□を□□くたものの□□をくわれないように、いろいろな

□□の□□をかけて、□□をころす。

(6) □□□に□□した□□は□□あたたかい。

(7) みかんは□□□□に□□んで、□□の□□へ□□ぶ。

(8) みかんの□□は、すてずに□□しておいて、これを□□して□□を作る。

(9) □□に□□□□のお□□へ友だちと行った。その□□の□□を□□って、□□にお□□りを出した。

(10) □□が□□すんでから、ゆかたを□□、□□をしめ、うちわを□□って、□□たちと、□□の□□き□□に□□られたやぐらの□□りでぼんおどりをする。

(11) わたしには□□も□□もお□□も□□い。

(12) □□が□□んで、□□や□□をとかして、いろいろな□□が作られ、□□になってきた。

(13) 日本語の□□は□□がアイウエオ□□にならんている。

(14) 昔の人は□□たい□□の上で□□い□□の□□をきりのようにもんで□□を□□すことを□□した。

- (15) ^{どうぶつ}□□たちは^{じしん}□□の^{まえ}□□に^{じしん}□□の^く□□ることがわかるそう
で、□□にはない^{にんげん}□□^{ふしぎ}な□□^{ちから}があるのだろう。

(三) 次の文の()の中に適当な助詞を入れなさい。

- (1) シャツが汗()びっしょりぬれていて、気持ち()悪いです。
- (2) 恋人から一月以上も便りがない()()、何か特別なわけ()ある()ちがいありません。
- (3) どこからか音楽()聞こえてきます。
- (4) 花()水()かけます。
- (5) りんごの木の枝に実()たくさんなります。
- (6) 一本の木にたくさんの実()ならせるといい実()なれませんか。
- (7) クラスにはよく勉強する学生もいます()、遊んでばかりいる学生()います。
- (8) 今回の観光は一週間か十日間()終わります。
- (9) あと十分()すみます()()、待ってください。
- (10) 王さんが帰国してから、ずいぶん日()経ちましたが、どうして便りがないでしょう。
- (11) あなたはよく汗()出ますが、わたしはめったに汗()かきません。
- (12) この部屋にはよく日()当たります。
- (13) これは今()()何万年()前の昔話です。
- (14) 大昔の人は火()使って、肉()にたり焼いたりして食べることは知らなかったです。
- (15) あのふくろはいろいろな道具()いっぱいです。
- (16) 石さんは日本へ留学する()()()、いっしょうけ

んめいに日本語を勉強しています。

(17) このくじに当たる人は一万人()一人しかいません。

(18) この木はたった一度すり合わせた()()で燃えはじめました。

(19) 夜()なる()、ほら穴の中()まっ暗()になってしまいます。

(20) 火を発明した人間()、外の動物()()()進んだ生活()するようになりました。

(四) _____の上に_____の中の言葉から適当なものを選んで書きなさい。(一つの言葉は何回使ってもいい。)

(1) になると によって として にして すると

①交通_____世界を結ぶ。

②わたしは留学生_____日本へ来た。

③桜は四月_____花が咲く。

④大連はりんごの産地_____有名だ。

⑤ぶどうは種類_____色も大きさも違う。

⑥同じ中華料理といっても、店_____味が違う。

⑦大豆を粉_____豆乳を作る。

⑧食後の飲みもの_____は紅茶がいい。

⑨暴飲暴食を_____おなかをこわしてしまう。

⑩ぶどうをびんづめ_____全国の各地へ運ぶ。

(2) そして すると それで そこで だから
ですから そのために

①どうしたらいいか、わからなかった。_____, 先
ばいに相談した。

②来年大学へ入ってからお金がいるそうだと。_____
____、毎月五千元ずつ貯金することにした。

③戸を開けた。____、外に女の子が立っていた。

④工場が多くなった。____、公害がふえてきた。

⑤あなたは病気です。____、運動なさらないほうがいいですよ。

⑥君は病気だ。____、運動しないほうがいいよ。

⑦友だちが7時ごろ来た。____、9時に帰った。

⑧日本は天災が多い。____、家屋なども、台風や地震につぶされても、またすぐ建て直すという簡単構造になってしまう。

⑨最後バスにどうしても乗らなければならなかったの
で、わたしたちは急いでいったんです。____、
あなたに気がつかなかったんです。

⑩あしたはメーデーだ。____、学校も会社も休み
だ。

⑪空を見上げた。____、西の空で何かがパッと光
った。

⑫「中国の軍隊には階級がないんですか。____、
命令する人とされる人の区別はどうやってするの
ですか。」

⑬彼の楽しみはコーヒーを飲みながら音楽を聞くこと
だ。____、ベッドの中で本を読むことだ。

(3)

あと　ほか　ほど　いっぱい　～さ　やはり あまり　たった　世話を見る　店

①みんなが帰った____にさいふがおちていた。

- ②月給の _____ に少し収入がある。
- ③あせが流れる _____ 暑い。
- ④紙 _____ に字を書いた。
- ⑤ぼくも(きみと同じように) _____ 反対だ。
- ⑥ _____ たくさん食べるとおなかをこわすよ。
- ⑦日本人はぼくが _____ 一人だ。
- ⑧日本には留学生の _____ 団体がいくつかある。
- ⑨ _____ でもう一度話そう。
- ⑩彼が行く _____ はだれも行かない。
- ⑪死にたい _____ 苦しい。
- ⑫早ければ早い _____ いい。
- ⑬庭に _____ 花が咲いている。
- ⑭きみは(まえと同じように) _____ 横浜に住んでいる？
- ⑮うれしさの _____ 飛び上がった。
- ⑯あの人は _____ 今帰った。
- ⑰先生におよめさんの _____ もらいました。
- ⑱ぼくは暑 _____ には強いが寒さには弱い。
- ⑲ _____ によってねだんが違う。
- ⑳ぼくはあの人の _____ のがすきだ。

(五) 例のように下の二つの文を一つにしろ。

〔例〕(1) 私はへやにもどった。(私は)新聞を読んだ。

→ 私はへやにもどって、新聞を読んだ。

→ 私はへやにもどると、新聞を読んだ。

①私は上を向いた。(私は)山の空気をすいこんだ。

→

→

②母親は子供を見つけた。(母親は)家へつれて帰った。

→

→

③私は東京に帰る。(私は)宿題をやっしまおうと思っている。

→

→

〔例〕(2) 私はへやにもどった。友だちが来ていた。

→私がへやにもどると、友だちが来ていた。

①山の上に着いた。そこに小さい店があった。

→

②まどをあけた。森が見えた。

→

③石をなげつけて岩にぶつかった。ぱっと火花をした。

→

〔例〕(3) ほんとうです。信じてくれません。

→ほんとうなのに、信じてくれません。

①きょう会ったばかりです。もうだいぶ会わないような気がします。

→

②すきではありません。どうしてすきだといったのですか。

→

③あの人は死んでしまいました。まだ生きているような気がします。

→

④わたしが買ってあげました。ぜんぜんお使いにならないのですね。

→

〔例〕(4) 池には水がいっぱいになっています。金魚も気持ちよさそうに泳いでいます。

→池には水がいっぱいになっていて、金魚も気持ちよさそうに泳いでいます。

①五月に花が咲きます。そのあとに小さい実がたくさんなります。

→

②秋になると、実がじゅくします。食べられるようになります。

→

③この村の人たちはほんとうにいい人ばかりです。わたしにとっても親切にしてくれます。

→

(六)例にならって次の文を受け身の形の文に書きかえなさい。

〔例〕火をどのようにして発明したのですか。

→火はどのようにして発明されたのですか。

(1) 火を出す火打ち石を発明しました。

→

(2) いろいろな道具を作りだすことも考えてきました。

→

(3) 果物をはこづめにします。そして貨物列車に積んで、外の地方へ運びます。

→

(4) 北の寒い地方でりんごを作ります。

→

(5) 太平洋に面したあたたかい地方ではみかんを作ります。

→

(七)下の 中の言葉を適当な形にかえて、()の中に書き入れなさい。

晴れる	ぬれる	すう	ふむ	聞こえる	もどる	
さす	はる	作る	食べられる	食べられない		
ふせぐ	弱い	散る	しずむ	やける	続く	出る

- (1) 毎日暑い日が()ています。
- (2) すっかり日に()てしまいました。
- (3) 日は東から()て、西に()ます。
- (4) 花が()と緑色の実ができて、だんだん大きくなります。
- (5) みかんは、寒さに()ので、太平洋に面したあたたかい地方で()ています。
- (6) 害虫を()ために、ふくろをかぶせたり、農薬をかけたりして育てます。
- (7) 夏ごろから()物もありますが、秋の終りでなければ()物もあります。
- (8) シャシんがかべいっぱい()てあります。
- (9) 月の光が庭いっぱい()ています。
- (10) 落としたお金はほとんど()てきません。
- (11) どこからかラジオたいそうの音楽が()てきます。
- (12) やわらかい土を()で庭を歩きました。
- (13) むねを広げて、空気をむねいっぱい()こみなさ

い。

(14) 雨にふられてすっかり()てしまいました。

(15) 空は青く()ていて雲一つ也没有せん。

(八) 次の(1)～(6)の文に使われている「ため」は、〔例〕のa、b、cのどちらと同じか。記号で()の中に書きなさい。

〔例〕a. これは子どものためになる本です。(ため＝役にたつこと。りえきがあること。)

b. 空き地には、たいこをたたいたりするためのやぐらが造られている。(ため＝目的を表わす。)

c. 木と木がはげしくすれ合ったために、山火事になったことがある。(ため＝理由。原因を表わす。)

(1) 害虫を防ぐために、ふくろをかぶせます。()

(2) あなたのためならば、どんなことでもするつもりです。()

(3) 国境を守るために、兵士が派遣されていきました。()

(4) 病気のため学校を休みました。()

(5) 仕事のために、いつも天気気に気を配っている人もいます。()

(6) わたしはあなたの将来のためを思って、きびしくするのです。()

(九) 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

明るい昼すぎの喫茶店^①、彼は友人と待ち合わせた。友人はおくれていた。客のない円テーブルが、いくつ^②つづいている。夏のその時刻は客の数^aもまばらで、そのせい^bが、がらんとした店内^③がよけいひろくみえる。

③